

すぎなみ151便り

おとなりさん

あなたは わたしの おとなりさん
 わたしは あなたの おとなりさん
 あなたの となりは
 暮らしやすいなあ

2008年10月号
 (7.)

創刊：2008年4月
 編集・発行者：すぎなみ151
 〒168-0064
 東京都杉並区永福4-19-4 安藤ビル2-C
 Tel.: 03-3327-9225 FAX: 03-6666-8560
 E-mail: sgnm151@mx2.ttcn.ne.jp

目次

1.【9月の主な出来事】	6.【一美の密室】
2.【9月の出来事から特集】 《旅行特集》	7.【重要なお知らせ】
3.【さんぽみち】	8.【今月の4コマ漫画】
4.【エロジ「人生の詩」】	9.【20年経つんですけど・・・】
5.【今月の「駄洒落クイズ」】	10.【「すぎなみ151」スタイル】
	11.【11月の予定】

1.【9月の主な出来事】

- 9月10日(水)～12日(金) 宿泊旅行『北海道函館』
 9月16日(火)～17日(水) 河北総合病院看護専門学校実習生受入
 9月18日(木) ソフト・バレーボール練習 荻窪体育館
 9月24日(水) ソフト・バレーボール練習 中部センター体育館
 9月26日(金) スポーツ交流祭キャプテン会議 東京体育館

2.【9月の出来事から特集】

特集！北海道旅行

「すぎなみ151」では、9月10日から12日の2泊3日で北海道の函館に行ってきました。

参加された仲間達からの寄稿を掲載いたします。

その1： 「うわっ、夢か～？」

遠山金次郎

2、3日くらい前から旅行に行く準備をしていました。

かばんの中に、下着、薬、お金……。大きなバッグに入れていました。昨年買った黒い旅行バッグでいいと決めていました。

明日、9月10日（水）すぎなみ151の皆と旅行に行きます。北海道の函館です。嬉しいな～。

集合時間は151に12:15です。楽勝です。

例年だと、集合時間はもっと早いからです。

緑亀の赤ちゃんを飼っています。

オリンピックにあるペットショップへ行きました。そして、ペットショップの店員さんに訊きました。

「今月、3日間くらい旅行に行くんですけど、部屋の電気を全部消して大丈夫でしょうか？」そう訊いてみました。

店員さんは、「やったことないから、わかりません」と言っていました。

浜田山にあるペットショップへ行きました。

そこで「3日間大丈夫でしょうか？」と訊いてみたところ、「3日間くらいなら大丈夫ですよ」と言っていました。

うれしかったです。

さて、今日は旅行の前日です。

夜の12時頃までCDを聞いていました。夜風呂には入らずに、朝入ろうと思っていました。

いつもの様に、いつの間にか眠っていました。

はっ！と気がついて時計を見たら、2:05でした。

ぼんやりした頭で、さっきまで見ていた夢のことを考えていました。

時計は2:10……。窓の外はなぜ明るいのだろう……？

しばらくして、「はっ！ 俺は何をしているんだろう？」と思い始めました。

「何か変だじょ～？？？」、「何か大事なことがあったんじゃないか～？？？」。

「わっ！ 昼の 2:10 だ！」、「今日は何だ??」、「そうだ、行事だ、旅行だ」、「やっ、やばい、おっ、俺、何やっているんだろう。バカだな～。わ～ん、もう遅～い。」

「こんなことなら、前の日の日中、一杯眠っておいて、徹夜して起きていれば旅行にいったじゃないか～！」

その頃、すぎなみ 151 の皆は、俺を東京に置き去りにして、羽田空港から函館に旅立とうとしているのでした。

「おっ、俺って奴は～！」

その 2 : 『すなさぬ・すなっちのハコダテつああ』

スナッチ・すなさぬ

9月10日、遅刻せずに151に来ると、遠山金次郎さんが来ない。代わりに、見送りにきた UFO さんが飛び入り参加することになり、出発。(UFOさん良かったね) リムジンバスに乗り、首都高を抜け、羽田空港へGO！！

空港で、「芋アイス」(浅草)と、「そのまんま東地鶏パン」を購入。なぜ羽田空港に宮崎名物があるのかわからない。エア・ドゥと国内線。乗るのは初めてだ。(期待)

「靴を脱いで飛行機に乗るんだよ」と、今働いている警備会社の上司に吹き込まれ、すっかり信じていました。

エア・ドゥのアテンダントの金さんが美人で、機内サービスのオニオンスープを勧めるとき、二度体当たりをしてくれて嬉しかった。(これじゃ、俺は単なるエロオヤジじゃないか～。ってこの若さで、単なるエロオヤジです。)

米沢上空で、機内放送で流れるラジオの音楽(邦楽)にひたる。

さあ、函館上空だ。函館到着。お迎えの送迎バスに乗って、空港から程遠くない湯ノ川温泉の湯元啄木亭へGO!

このホテルは庭園が見事。部屋でTVをつけたらNHKの天気予報をやっていた。天気予報に出てくる地名は、北海道と青森の地名ばかり。中標津、留萌、奥尻・・・などなど。



東京では、相変わらず自民党総裁選。麻生、石原、小池、石破、与謝野がTVに映っている。



で、さっそく飯! バイキング形式。地ビールを勧めるタクシード姿のホテルマンが現れるも無視。(ビール1000円は痛いからの~)水のサービスは良好。地元ジャガイモ、石狩鍋、イカメシ、地元北海道産のキャベツやニンジン等の野菜のてんぷら、北海道牛乳、エビ、カニ、そば、

ケーキ、カレー、寿司・・・。北海道の大地の恵みはすばらしい。

ホテルの1階のロビーには、日本ハムの梨田監督の等身大の写真有り（サインつき）。ここは、いよいよ北海道だと感じ入る。

で、次は温泉！ 一緒に来た仲間達と温泉につかる。ふぁ～、いい気持ちでした。

その後、夜のプログラム。函館の夜景を見に、バスで函館山に向かう。函館山の頂上に登る途中からも素晴らしい夜景が何度か見えた。そんな道中『「この夜景より君の方がキレイだよ」って彼女に言えばイチコロですよ』的な発言がどこからか…。盗み聞きしました。

ちなみに、函館の夜景。ナポリ、香港を凌ぐ夜景で、函館の夜景を望む函館山の標高は334m。下北半島をのぞみました。

二日目。ベテラン・バスガイドさんが添乗するバスで、函館観光へGO！ この百戦錬磨のベテラン・バスガイドさんに絡む、マスターとUFO。「ゲリラ豪雨はあるのか？」「歳はいくつか？」「独身か？」など質問攻め。マスターの攻撃は意外と無視され続け、さすがのトークの神様も、この新しい対応にたじたじ。他方、以外やUFOさんは息子の如くかわいがられていた。

まずは、トラピスチヌ修道院へGO！

このトラピスチヌ修道院は女子の修道院。クッキーで有名なトラピスト修道院は男子の修道院。この旅行の準備をするまで知らなかった人が多かった。これは、カトリック系キリスト教会の修道院で、那須、西宮、伊万里、宮古島の五大女子修道院のこと。

フランス人シスター8人がこの修道院をスタートした。修道院に入ってから6年半まではシスターをやめられるそうだが、その後は一生身を捧げなければならないそうだ。掟が厳しく、生活に敗れたからといって簡単に入れるところではないそうだ。



修道女達のここでの生活は、牧畜、農耕など8時間の労働と、8時間の祈禱。聖ベネディクトの戒律に、朝3時30分起床で、19時45分就寝の厳しい生活。寝起きする部屋には暖房はなく、冬は零下になるそうだ。刑務所よりも厳しそう。

因みに、すなさま（私のこと）は、トラピスト・チョコレートとロザリオという聖具を購入しました。（お前はプロテスタントじゃろが）

チョコは仕事先の女性職員へのお土産。（スケベ心丸出し）ロザリオは十字架のネックレス風の聖具で真鍮製。昔、聖母マリア様が現れ、ドミニコという聖人に祈れば、イスラムに勝つと与えられた。で、レパントの海戦で、イスラム・トルコ軍に勝利したという逸話があり、カトリックではメジャーな「ロザリオの祈り」で使われる。



因みに、ロザリオは聖母マリア様に祈りを捧げるときに使う数珠なので、首に付けるペンダントではありません。数珠ということは、その珠を指先で繰るわけです。唱えながらこれをやるんですよ。イスラム教の方々も数珠を持っています。十字架は付いていませんが。イスラム教の方々も同じように数珠の珠を指先で繰りながら何か唱えごとをつぶやいているのを見たことがあります。いろいろ勉強になるね。

聖天使ミカエル像と聖母マリア像の前で記念写真をパチリ！

次は五稜郭に GO！。

五稜郭のそばに、「五稜郭タワー」が立っています。高さ 90m の展望台。そこから、五稜郭を上から一望できるようになっていました。五稜郭タワーのお土産屋では、多摩人の土方歳三ら新撰組グッズがあり、Tシャツ等惹かれたが購入しそびれてしまった。



五稜郭の内部を観光。当時の大砲の現物が残っていた。幕府軍が使った飛距離の無いイギリス式と官軍が使った優秀なドイツ式。この優秀なドイツ式大砲で、五稜郭に籠もっていた幕府軍はひとたまりもなかったそう。

五稜郭の中では、まだ発掘作業が行われていて、麦藁帽子に頬かむりのおばちゃんたちが、地面を丁寧に発掘してました。アイヌの人たちの史跡なんかがまだ出土するようです。

かつて五稜郭の中に立っていた函館奉行所は復元作業中で、建設が進められているようだった。当時、この奉行所のとんがり屋根が官軍が五稜郭を攻撃する時の目印になって、大砲が打ち込まれたと、資料館の方が教えてくれました。

期間限定で公開されていた資料館では、ヨーロッパに数多くみられる五稜郭と同じ様式の要塞の写真も展示されていて、五稜郭がヨーロッパ建築を真似たものだったことが良くわかりました。ヨーロッパでの流行からかなり遅れて、この要塞様式が日本に持ち込まれたようでした。

土方の座像、箱館戦争史パネルも、一見して勉強になる。晴れた一日。

次は、旧函館区公会堂へGO！

函館山を登るゴンドラ乗り場の近くの駐車場にバスを止めて、そこからしばらくと旧函館区公会堂に向かって歩いた。

旧函館区公会堂に向かう道すがら、ハリストス正教会(ロシア正教会)、聖ヨハネ教会(英国聖公会)、カトリック本町教会の合間にある売店で、お姉ちゃん達が、名物のアイスクリームを売ろうと、割引券やら、客引きやらをしていた。通りにロシアの極東大学函館分校があり、職員のがらすびんさんの知人がここに通っていたらしい。因みに、彼(がらすびん)は今回ギターを持ってこなかった。

明治は、日本におけるキリスト教の一大リバイバルの期間だと思うのだった。

あと、本願寺(浄土真宗の本願寺派)もあった。コンクリート製の本堂で、火事に強いとのことでした。



旧函館区公会堂に着くと、早速、参加者2名が、館内のハイカラ衣装館で、明治風？ 貴族風？ の燕尾服とドレスをそれぞれ着て、写真を撮ってもらっていました。小学生が沢山修学旅行でこの公会堂を見学していました。

この、木造建築の建築美はすばらしかった。古い木製のトイレもあった。



その後、また疲れ気味の身体を引きずって、同じ道をバスが待っている駐車場へ歩いてゆく。バスに乗り込む函館の街を通り抜け、赤レンガ倉庫へGO！。

バスの窓に、洋食屋の五島軒、函館競馬場、路面電車、函館駅、ハンバーガー屋のラッキーピエロ、と次々と函館市内の景色が映し出される。



赤レンガ倉庫の中にあるビア・ホールのようなお店でランチを食べた。北海道と言えばジンギスカンでしょ！ ジンギスカン、ソーセージ、サラダ、コロッケ。ビールを飲む人、不味いノン・アルコール・ビールを飲む人、ジュースを飲む人、ウーロン茶を飲む人、水を飲む人。

ほろ酔い気分のスナッチ様は、すっかりお殿様気分。周囲の人に「あ～それ食べたいな～、ちょうだい」、「そっちの料理も、もってくれ」などと命じていたら、UFOさんに「俺は召使じゃないんだから、自分で皿に盛れよ！」と言われたり、「私も、スナッチの彼女じゃないんだから、自分でとってよ！」と苦言を浴びるも、酔っていたので、平気ぶるスナッチ・すな様。

食いに食って、その後はレンガ倉庫のお土産屋などをみつつ、バスが待っている駐車場にふらふらと向かった。



皆バスに戻ったかな～？ と思ったら、一人行方不明。がらすびんさんがレンガ倉庫に捜索に行った。しばらくすると、無事ががらすびんに付き添われて戻ってきました。めでたし、めでたし。

ふぁ～、酔いも回って、くたくたです。
一行は宿に戻ります。

のんびり温泉につかった。大浴場ではなくて、中浴場に行ってみた。客なし。貸切状態でした。

その後は、恒例の宴会です。

し、しか～し。いきなりユウコリンのカラオケ・オンステージが始まった。次から、次へと曲が始まると歌いまくるユウコリン。楽しい旅行の締めとなるはずの宴会が、ユウコリンのカラオケ・オンステージで 90% 終わってしまうとは・・・、誰も予想していなかった。



宴会の雰囲気は、何となく「しら～」っとしていた。きっと、気がついていなかったのは恐らく一人だけだったろう。

残りの 10% は、佐田輝民による中国語の歌、同じくりコーダー演奏と、浴衣を着たプロレスラーによるパペット腹話術、その他の控えめなカラオケだった。

なにはともあれ、今年もケガも事故も無く、こうして2泊3日の旅行にいけてよかった。東京に戻ると、また夜勤・日勤・夜勤・日勤、あ～、警備の仕事が待っている。

その3：『青春』～函館の夜景に抱かれて～

ヨッチン

宝石のように、散りばめた
ひとつ、ひとつの^{あかり}光に
すぎ去った思い出がよみがえる

すりガラスからみえた、オレンジ電球
魔法のように見えた、町の街灯
暗やみにくすんだ、駅の電飾

あの時は、思いつきり笑ったけ！
あの時は、にがい思いをしたっけ！
見えかくれする^{あかり}光に感動の涙が……

^{あいつ}彼は、今、何をしているだろう？
^{あの子}彼女は、もう家庭にはいったか？

すべての思い出が
すべての人影が
すべての明かりの中に
踊り、はねている！
キミは、この夜景に、何を思うのか？

この函館の恥じらいともいえる
ビーナスの競演！

ありがとう 函館！
いつまでも 函館！
いつまでも 青春！！

3. 【さんぼみち】 ~ 河田隆利エッセイ ~



「木漏れ日のテラスで村上春樹に溺れた午後」

秋の高く眩い空が青く光る神田川の川面を沿ってビアンキを走らせた。まず吉祥寺の本屋に飛び込み、新潮文庫の《もし僕らのことばがウィスキーであったなら》476円也を買い込むと、井の頭公園に向かう七井橋通りにある、木漏れ日が差し込むいつものスタバーのいつものテラス席に陣取って、LISMOで録音した《I am Sam》のサントラ盤を聴きながら読む事にした。

秋のそよ風を浴びながら、^{たまき}珠樹ちゃん^いが淹れる、栗の絵を描いてくれたソイラテが湯気をたてて運ばれる頃には、ランチタイムに駆け込むOLたちがポーチ片手にぞろぞろと入って来る。

彼女達のお目当ては《セモリナ・ベグエツテ》で、デュラム・セモリナ粉で焼いたバゲットに具を挟んで調理したホットサンドだが、特に《きのことアーティチョーク》は人気があって、吾輩も時折電話して取り置きして貰うほどだ。これと共にヴァジル・クリームパイがまた堪らない旨さで、口の中で咀嚼^{そしゃく}したパイの風味がほんのりと鼻に抜けて、とても良い香りに包まれるものだから、これもたちまち売り切れるので困ってしまう。

さて、ここ数日、日本人科学者や化学者のノーベル賞ラッシュがメディアをにぎわせている。私は、村上春樹氏がノーベル文学賞を受賞できることを期待していて、その記念に読もうと思っていた本があるのだが、結局取る事が出来なかったのもので、その本を読む楽しみは、当面おあずけになってしまった。

《ポートレート・イン・ジャズ》のエッセイの中のチェット・ベーカ―のあの一文を読むだけでもノーベル賞ものだと思う名文なだけに、私としても残念に思う。あの珠玉の批評は生涯決して忘れられない美しい文章であり、また的確な批評となっている。

彼の文章には、いつもその表現に驚かさせる程のインプロビゼーションが周波数のように唸っていて、時にはビル・エヴァンスのピアノのようなりりカルに、またある時はキューバン・シガーのようなきりりとした文章を自由自在に操り、彼特異な表現で愉しませてくれるのだが、今回の『もし僕らのことばがウィスキーであったなら』は、スコットランドのアイラ島とアイルランドのシングル・モルトのウィスキーを求めるところの2週間の旅のトラベログとなっていて、彼の文章と共に奥様である陽子さんが撮った写真、これがまた良い。

旅の写真は(こうでなくちゃいけない)と思える程良い写真なのだ。

この本を読むのに、ビートルズの曲が似合うのも良かった。

スコットランドのアイラ島の処で、サラ・マクラクランの歌う《Blakbird》が絶妙な風景を明示し、アイルランドの処では、ベン・ハーパーの《Strawberry Field Forever》が彼の文章と絶妙なマリアージュとなったのが嬉しくなってきた。

本は軽妙洒脱な比喩に溢れて、ビールの味を、イングリット・バーグマンの微笑みのようなクリーミーさと云ったり、モーリン・オハラのようにハードに引き締まっていたりとか、あるいはローレン・バコールの瞳のように捉えどころがないとか、とにかく村上ワールド炸裂するところなんざあ、ビートルズの《Don't let me down》を聴いているように引き込まれていくのである。

とにかく、木漏れ日がやがて大きな翳^{かげ}になる頃には本も読み終え、静かな七井橋通りとなったが、たまにはこんな贅沢な一日をおくるのも良いなあと思うのだ。

帰りに、井の頭公園のストリート・ショッパーでフレデリック・フォーサイスの《売国奴の持参金》、丸谷オ一氏の《樹影譚》、吉行淳之介氏の《悪友のすすめ》と、筒井康隆氏の《富豪刑事》の計4冊を80円でせしめて、三鷹台の八百屋でサラダホウレン草を一束80円と早稲ミカン20個298円也を買いこみ、透かし顔のスガシカオのように財布の中身がセンチメンタルになったのだが、心はとっても健やかになり、オレンジ色の夕焼け雲の下をせっせと家路に着いたのだった。

明日もまた、栗の絵のソイラテで日長一日読書に勤しもうかと思う程の気持ちの良い日であった事は間違いない。

また、近くのマンションの前に花壇をアレンジしているのが綺麗だったので、写真を撮ったが、村上さんが《旅は実際に居るより、帰ってきてからあそこは美しかったなあ》と、云ったように、存外写真の花壇は少々色褪せて見えるのは本の影響のせいかも知れない。

おわり

4. 【エロジ「人生の詩」】

俺は、調子が高くなると芸術家になる。
そんな俺の「人生の詩」

涙
うれしい時 出る涙
感動して出る涙
かなしくてかなしくて出る涙
いろいろな場面でおでくる涙
涙はやさしい人に出る
涙はやさしい人に出る
人と別でぬんわんなく人
涙をこらえて人と別では絶対
なかな人
涙はやさしい人におでくる
泣きたい時にはおおになくと
いい涙はやさしい人に出る
涙 涙 涙 涙
やさしいしるしだよ

5. 【今月の駄洒落クイズ】

言葉の魔術師『謎の男 Mr.Y』が出題する、今月の駄洒落クイズはこれだ！

日本があわててキューバと戦いました！

どちらが勝ったでしょう？

答えは来月号に掲載されます。

9月号の答： 掃除機（正直）

（うっ！苦しいっ！）

6. 【一美の密室】

さて、今月号も「一美の密室」で、あなたと私、この密室で楽しみましょうね。うふふふっ。

今日は「スイセン」さんのお話。

スイセンといってもトイレじゃないですよ。花のスイセンの話です。
(編集者:「さぶ~」)(一美さん:「わるかったわね~」)
ヒガンバナ科スイセン属の花です。

スイセンというと、ラッパスイセンを思いますが、八重咲きもありますよ。

花言葉「自己愛」、「うぬぼれ」、「我欲」、「神秘」です。
黄色い花は「気高さ」、「感じやすい」、「もう一度愛して欲しい」ですが、白色の花は「自己愛」だけです。

ヒガンバナと同じく「リコリン」という毒があります。
小さいタマネギ、野草のノビルの鱗茎、葉ニラと間違えて食べたことで中毒を起こした例があります。注意しましょうね。スイセン全体に毒性があります。

7. 【重要なお知らせ】

6月18日、「すぎなみ 1 5 1」のFax番号が次の番号に変わりました。

Fax: 03-6666-8560

しばらくの間、03-3327-9225でもFAXは受信しています。

8. 【今月の4コマ漫画】

作：音成一郎



9. 【20年経つんですけど・・・】

「すぎなみ151」は開設から20年経ちました。

利用者の声

私は、「すぎなみ151」が今年20年も経ったと聞いて、「すごいなあ」と思いました。

毎日、楽しみな昼食を、みんなで作るの楽しいです。

とてもおいしくて、うれしいです。

クスリ飲まない、眠れなくて、一生かかるから、困ってます。

でも、みんなに手伝ってもらったり、行事があるので、嬉しいです。

「すぎなみ151」を利用できてよかったです。

H.N.

10. 【「すぎなみ151」スタイル】

いや～、びっくりだね～。

気がつけばさ～、日本では、福祉って、不自由ってことなんだね～

不自由って、不幸なことだよね～

「不幸」と「福祉」ってちょっと似てるけど、正反対の意味だよね～。

どうしてこうなっちゃってんの？

いや～、ほんと、びっくり！

自分の国を誇れないって、悲しいよな。

11.【11月の予定】

空白の欄は、平常通りの活動が予定されています。

活動予定・日程は変更されることがありますので、ご了承ください。

2008年11月	日	月	火	水	木	金	土
							1
午前							お休み
午後							
	2	3	4	5	6	7	8
午前	お休み	 お休み 文化の日		ソフト バレーボール 永福体育館			お休み
午後							
	9	10	11	12	13	14	15
午前	お休み			スポーツ 交流祭 (ソフトバレー ボール大会) 千駄ヶ谷 東京体育館			お休み
午後							
	16	17	18	19	20	21	22
午前	お休み			屋外活動 高尾山 (雨天の場合 は映画)			お休み
午後							
	23	24	25	26	27	28	29
午前	 お休み 勤労感謝 の日	 お休み 振替休日					お休み
午後							
	30						
午前	お休み						
午後							

来月号へつづく のかなあ・・・

久しぶりの連絡があり「元気？」って訊かれた。

「頭髮以外は」って答えた時、秋風が吹き、枯葉を散らした。淋しさ増す秋の夕暮れ。

「おとなりさん」のバック・ナンバーをご希望の方は「すぎなみ151」までご連絡ください。